

科目名	公衆衛生看護特論 (Topics of Public Health Nursing)			科目コード	305
開講学科	看護学科	選択区分	選択	単位数(時間)	1単位(30時間)
科目区分	専門科目	履修時期	4年次後期	関連DP	看②③⑤
担当教員	野村 美千江、豊田 ゆかり、入野了士、井上 睦美*				
授業概要	公衆衛生看護学実習ならびにチーム医療・看護管理を基盤に、公衆衛生看護管理および地域の健康課題への対応を総括するとともに学校保健の実際について教授する。				
授業目標	1 公衆衛生看護管理における業務管理・情報管理・組織管理について理解できる。 2 学校保健の実際や地域における子どもと家族の健康課題への対応について説明できる。 3 分野の異なる事例をもとに、看護の対象とその支援方法を考え、説明することができる。 4 各分野の健康課題解決への対策として法制度や各種計画、市町村単位の支援方法を説明できる。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1～2	公衆衛生看護管理	公衆衛生看護管理とは 業務管理：事例管理・地区管理・事業管理・予算管理 情報管理：地域資源管理・データ管理 組織管理：人材育成・組織管理 公衆衛生看護管理に関する文献の紹介と読み取り 政策評価と事業評価 〔次回の事前学習〕養護教諭の仕事	野村美千江
3～6	学校における公衆衛生看護活動	学校保健の概要、養護教諭の役割、学校保健統計の活用 児童・生徒の発達と健康アセスメント、環境アセスメント 学校保健計画と保健室経営、学校保健委員会、保健教育、リスクをもつ児童生徒への支援、学校保健の健康危機管理	井上睦美
7	地域における子どもと家族の健康課題への対応	地域における育児支援システム 親子の健康な生活を支える、難病や障害をもつ子どもが地域で生きることを支えるネットワークづくり	豊田ゆかり
8～9	事例から考える対象別の支援方法 (ケースメソッド演習)	活動分野の異なる事例をもとに、個人/家族、地区/地域、住民組織/地域組織、自治体の4つのレベルにおける健康課題とその支援方法を考える	野村美千江
10～13	健康課題や法制度の変遷から見るわが国の公衆衛生看護	1) 生活習慣病対策/がん対策/歯科保健対策 2) 精神保健対策(自殺・依存症対策含む) 3) 高齢者保健福祉対策(医療と介護の連携、地域包括含む) 4) 難病対策/感染症対策(結核、食中毒、ノロ集団発生) 5) 母子保健対策/思春期保健対策 6) 児童虐待防止対策 7) 障害児者支援対策(発達障害含む) 8) 災害対策—予防・発災時・復旧対応 各Gプレゼン30分/質疑応答15分	入野了士
14～15	健康事象の分析に活かす疫学的方法論	科学的判断に基づく地域診断に必要な疫学的思考とその実際	
成績評価方法		筆記試験50%、グループ学習の成果評価50%	
教科書		厚生労働統計協会「国民衛生の動向・厚生指標2018/2019」 佐伯 和子編「公衆衛生看護技術(公衆衛生看護学テキスト2)」(医歯薬出版) 岡本 玲子編「公衆衛生看護活動I(公衆衛生看護学テキスト3)」(医歯薬出版) 荒木田美香子編「公衆衛生看護活動II 学校保健・産業保健(テキスト4)」(医歯薬出版)	
参考図書等		医療情報科学研究所編「公衆衛生がみえる第1版」(メディックメディア)	
授業時間外の学習について		保健師国家試験の学習と関連させるとよい。	
関連科目		公衆衛生看護学の科目群	
備考			